保育所・認定こども園における
生活課題を抱える保護者への支援を考える
―公開スマイル研究会＆対応困難ケースの実際―

日　時：平成27年11月12日（木）
14:00～17:00（受付13:30～）

会　場：大阪府立大学 I-Siteなんば 2F C2・C3 教室
大阪市浪速区敷津東2丁目1番41号 南海なんば第1ビル2・3階

参加費：無 料　定　員：120名　申込方法：FAX/メール
※詳細は裏面記載

■「保育所・認定こども園における地域貢献事業の意義と課題」
大阪府立大学教育福祉学類　教授　関川　芳孝

■「スマイル研究会による調査研究からみえてきたこと」
大阪府立大学教育福祉学類　准教授　中谷　奈津子

■ 実践報告「対応困難ケースにおける情報共有と役割分担の実際」
ファシリテーター　大阪府立大学教育福祉学類　教授　関川　芳孝
コメンテーター　泉佐野すえひろ保育園　園長　田中　正清氏
大阪府立大学教育福祉学類　准教授　中谷　奈津子

＜スマイル研究会とは＞
大阪府社会福祉協議会保育部会が養成する「地域貢献支援員（通称：スマイルサポーター）」の役割と組織内運営、他機関との連携のあり方等について研究する研究組織です。この研究で得られた結果は、保育所・認定こども園における保護者支援のあり方のモデルを全国に提案することにもつながります。メンバーは、関川芳孝（大阪府立大学教授）、中谷奈津子（大阪府立大学准教授）、鶴宏史（武庫川女子大学准教授）から成っています。平成25年度から文部科学省科学研究費助成を受けて、継続的に研究を行ってきました。平成27年度には、大阪府下の649の私立認可保育所・認定こども園を対象に、大規模な質問紙調査を実施しています（調査にご協力いただいた皆様ありがとうございました）。

本セミナーは、日本学術振興会科学研究費補助金を受けて行っている基盤研究(C)「保育所における生活困難の早期発見・早期対応と保育所の組織運営に関する研究」についての研究成果の発表を兼ねています。

主　催　大阪府立大学21世紀研究機構「教育福祉研究センター」・大阪府立大学教育福祉学類
共　催　社会福祉法人大阪府社会福祉協議会保育部会

開催趣旨

生活困窮家庭や子どもの貧困問題が社会問題となっています。経済的困難の他にも、親の介護、障害、病気、ＤＶなど家庭内で起こりうる生活困難はさまざまなであり、家庭の生活・子育て基盤を揺るがす事態となっています。

保育所・認定こども園は、子どもと保護者が日々通うところであり、問題が深刻化する前に予防的な取り組みが可能となる地域の社会資源です。大阪府下の保育所・認定こども園での実践報告と、調査からみえてきた保護者支援の現状を題材に、保育所・認定こども園における支援のあり方を考えていきます。

【会場】
〒556-0012　大阪市浪速区敷津東2丁目1番41号
南海なんば第1ビル2・3階
大阪府立大学 I-siteなんば

I-siteなんばまでのアクセス

- 南海電鉄「なんば駅（中央出口）」下車、徒歩約12分
- 地下鉄御堂筋線「なんば駅（5号出口）」下車、徒歩約15分
- 地下鉄御堂筋線・四つ橋線「大国町駅（1番出口）」下車、徒歩約7分
- 地下鉄堺筋線「恵美須町駅（1-B出口）」下車、徒歩約7分
- 南海電鉄高野線「今宮戎駅」下車、徒歩約6分

【申込先】大阪府立大学教育福祉研究センター
FAX：072-254-9517　　E-mail： smile1112@ao.osakafu-u.ac.jp
※FAXもしくはE-mailのいずれかの方法でお申込み下さい。

【申込締切 ： 定員に達し次第締め切ります。】
〇参加受領の連絡や受講票などの発行はいたしませんのでご了承ください。
〇FAX申込の方につきましては、定員に達していた場合はお電話にてご連絡いたします。
〇ご記入いただいた個人情報につきましては、本セミナーの運営のみに使用するものであり、他の目的での使用や第三者への提供はいたしません。

「保育所・認定こども園における生活課題を抱える保護者への支援を考える
―公開スマイル研究会　＆　対応困難ケースの実際―」
（平成27年11月12日開催）参加申込書

所属団体名		
電話	FAX	
氏名・ふりがな		役職
ふりがな		
ふりがな		
ふりがな		